

エネルギーシステム研究会「第8回技術講習会」の開催案内 「地域熱供給システムとBCP（これからの地震・水害に備える）」

エネルギーシステム研究会代表

佐土原聡（横浜国立大学・教授）

村上公哉（芝浦工業大学・教授）

■開催趣旨

ここ最近、首都直下地震、南海トラフ地震等の巨大地震の発生を危惧する声が高まり、インフラ供給に従事する技術者としての対応が迫られています。卑近な例では北海道地震に於けるブラックアウトの問題、東日本大震災での津波、各地で発生している水害等によるインフラの停止、建物機能の停止が発生しています。

このような状況を踏まえ、空調技術者は災害時に対する地域熱供給システムでのBCP、建物に対するBCPとしての構造基準の現状と、どのように対応すべきかについて、をテーマとしました。

ブラックアウトのように広域での都市機能低下に対する対策、津波・水害等による電気室・機械室の浸水・水没による機能停止への対策について、各専門の方にご講演をお願いしました。

我国における熱源プラントの課題を考える機会としたいと思いますので、是非ご参加いただけますようお願いいたします。

■主催：一般社団法人都市環境エネルギー協会 エネルギーシステム研究会

後援：一般社団法人日本熱供給事業協会

■日時：2019年6月24日（月）13：30～17：00（13時開場）

■場所：シティラボ東京（<http://citylabtokyo.jp/>）

東京都中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン6階 京橋環境ステーション内

地下鉄東京メトロ銀座線「京橋駅」3番出口直結

地下鉄東京メトロ有楽町線「銀座一丁目駅」7番出口より徒歩3分

JR「東京駅」八重洲南口より徒歩6分/JR「有楽町駅」京橋口より徒歩6分

■定員75名（先着順）

■参加費：5000円（資料代含む、当日会場にて徴収）

■プログラム（予定）

司会：橘 雅哉（研究会幹事）

13：30 開会挨拶：村上公哉（研究会代表）

13：35 基調講演：原 英嗣氏（国土舘大学 理工学部理工学科建築学系 教授）

「（仮）北海道大規模停電時の地域熱供給システムの稼働実態と社会貢献」

14：15 技術講習 No.1：助飛羅力氏（研究会副代表）

「（仮）阪神・淡路大震災時の設備被害」

15：05 休憩

15：15 技術講習 No.2：坪田圭司氏（大阪エネルギーサービス株式会社 技術企画部長）

「（仮）BCPも考慮したビル中間階設置の熱供給プラント」

16：05 技術講習 No.3：中出 博康氏

（三井不動産株式会社 ビルディング本部 環境・エネルギー事業部長）

「（仮）日本橋スマートエネルギー事業におけるBCP」

16：55 総括・閉会：田中良彦（研究会副代表）

■技術交流懇親会（17：15～ 希望者会費制3000円、当日会場にて徴収）

■申し込み方法

以下のメールアドレスにて、

e-mail：energy.system.society@gmail.com

以下の書式に応じて「氏名」「所属」「連絡先電話番号」を記載しご送付ください。

申込み締切り：6月19日（水）（ただし、定員になり次第締切り）

メールの件名：第8回技術講習会の参加申込み

氏名：〇〇〇〇

(1)所属：株式会社〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇部

(2)連絡先電話番号：03-8457-〇〇〇〇

(3)技術交流懇親会：「参加」or「不参加」

■問い合わせ先

芝浦工業大学 建築学部建築学科 村上公哉研究室 担当：山本、岡野、松田

TEL：03-5859-8457（直通）

以上

会場案内図

